



東温市の魅力を再発見するために
東温市の魅力を再発見するため、自然豊かな市の特性を活かした、自然と触れ合える体験活動を企画してはどうか？

川内中1年 鶴見 空土くん

中学生



音楽を通じた交流を

坊っちゃん劇場や新しくできたアートヴィレッジセンターに有名歌手などを招いて、コンサートを開けませんか？

重信中1年 三好 孝一くん



災害に備え、できること
必ず起こる南海トラフ地震に備えるため、今私たちができることは何でしょうか？

重信中1年 山本 結愛さん



必要。地域コミュニティ
地域の人が参加できるイベントを企画し、コミュニケーションが取れる場を作れませんか？

川内中2年 松本 単仁くん



地産地消の良さをPR

若い世代が農業に関心をもてるよう、就農支援などどのような対策ができるでしょうか？

重信中3年 高田 旺佑くん



快適な道路交通

公共交通機関を発達させるために、私たちにできることはなんですか？

川内中1年 近藤 愛理さん



東温市にもっと魅力ある場所を増やしたい

少子高齢化が進む中、高齢者の方には元気で長生きしてもらいたいので、公園をより多くの世代が使える空間にしていきたいと思います。高齢者向けの体力づくり用のトレーニング装置を整備することはできますか？

重信中2年 徳永 果威くん



今ある施設を魅力的に

こども館や図書館を中学生が利用しやすい場所にするために勉強スペースや談話室を設置できませんか？

川内中2年 野間 葉月さん



プラスチックゴミを減らしたい

ゴミを分別したり、減らすために僕たちができる活動はありますか？

西谷小6年 渡部 智裕くん



優しい心の人を増やすために

先日、福祉体験学習を行ったとき、目や耳の不自由な方に対してどのような心配りをすればよいか分からず、いろいろなことを見落としたのではと振り返りました。どんな心配りをすればよいか。ポスターにしたり、障がいのある方や高齢者の方と触れ合う機会を増やすことはできますか？

北吉井小6年 西坂 優さん



地域の絆を強めたい

子どもから高齢者の方まで、みんなが参加できるイベントを開催して、地域の絆を強めることはできませんか？

川上小6年 野中 真志くん



災害から身を守る

大きな災害が発生した時に、私たちはどのように避難すればよいのでしょうか？

南吉井小6年 公原 ひよりさん

特集 まちを調べる・考える

小中学生 子どもミーティング

8月28日、市役所で開かれた「子どもミーティング」に、市内小中学校から44人が参加し、まちづくりの疑問や提案などについて意見交換が行われました。



東温市を
活気あふれるまちに

僕は、東温市を活気あふれる町にしたいと思って、色々イベントができないか考えました。東温市には特産品として「はだか麦」や「もち麦」があるので、それらを使った「パンコンテスト」や山の傾斜を使ったうどん流しなどのイベントで人を呼び込むのはどうでしょうか？

川上小6年 田村 健心くん

小学生



地域が育てた豊富な作物

山から来る風に耐え、きれいな川の水で育った東温市の作物をぜひ観光の目玉としてアピールしたいと思います。

拜志小6年 丹生谷 孟くん

初めての議場

「おはようございます！」
当日の朝、会場となる市役所5階議場にやってきた24人の小学生の皆さん。普段入らない議場と、大勢の人たちを前に緊張した面持ちでしたが、会が始まると、自分たちが考えた意見を、一人ひとりしっかりと伝えることができました。

夢を持って取り組むこと

小学生からは、公園の利用や環境保全、にぎわいづくりのためのイベント開催など身近な事から、「地域の絆を深めるために交流イベントを開催できませんか？」「サッカー専用スタジアムを作れませんか？」といった意見が出されました。回答した市職員は、「貴重な意見ありがとうございます。新しい事を考えながら、地域の皆さんが行うお祭りにも是非参加してみてください。きっと地域の絆が深まりますよ」と伝えました。また、加藤市長は、「お金の面でできないこともありませんが、まず夢を持って取り組む。考えることが大事です。一緒に頑張りましょう」と激励の言葉を贈りました。

地域に目をむけて

午後から開催された中学生のミーティングでは、災害・防犯対策や環境保全・豊かな自然を活かしたPR活動などについて意見が出されました。農業に対する意見も多く「東温市は地産地消率の高い給食が素晴らしいのに、残食がゼロにならない。生産者の方と一緒に給食を食べて、食に対する感謝の気持ちを広めたい」という提案について、市職員は「若い皆さんが、食や農業に関心をもっていることは有難い。地域では田植え体験や稲刈り体験が開催され、9月には歴史ある『どてかぼちゃカーニバル』も開催されますので、是非参加してください」と地域イベントへの参加を呼びかけました。

取り組む皆さんの姿

次のページからは、当日参加した生徒の個別インタビューと、地域で主体的に活動する方々の取り組みを紹介します。皆さんもこれをきっかけに何か活動を始めてみませんか？

自分の地域には公園がない

公園を作ることはできますか？

観光地で有名な白猪の滝がある東谷地区は、多くの自然がある反面、行動範囲の限られる子どもたちにとっては「遊べる場所が少ない」という声も。佐伯くんが学校の授業で市の公園について調べると、東温市にはハロウィンの森をはじめ、公園が多くありましたが、自分の住む東谷地区には、白猪の滝農村公園だけでした。農村公園までは、距離がある坂道で、子どもたちだけでは普段行くことができません。



東谷小6年 佐伯 謙介くん

「通学路に近くて、車のおりが少ない場所がある。あそこなら、みんなの家から丁度いいんじゃないか。みんなでドッジボールがしたい」。自分たちの足で行ける公園が近くにでき、小学校の友達が集まる場所を作りたいと希望をもつ佐伯くん。東谷校区がもっといい場所になればと今回の意見発表に至りました。

守りたい、大好きな上林の自然

自然を守るためにどんな取組みをしていますか？

「上林は建物が少なく、緑の多いところが好きです。上林小学校は人数が少ない分、家族みたいに仲が良く、普段もおにごっこやサッカーをして皆で遊んでいます」と笑顔を見せる菅能さんは、自然の保全について意見発表しました。上林小学校では、夏休みの皿ヶ峰キャンプなど自然の中の活動があり、小学校でも「緑の少年隊」を結成して、啓発ポスターを作成・掲示するなど環境保全に力を入れています。



上林小6年 菅能 唯さん

上林のおススメスポットは、「やっぱり風穴です。夏は流しうめんも美味しいし、絶対行ってほしい場所です」と話し、将来は保育士になって、東温市で暮らしたいと夢をもつ菅能さん。いつまでも自然が残る上林を大切に守りたいと願っています。

次頁からは、活動する皆さんをご紹介します。

誰かの役に立ちたい ボランティアを広げませんか？

「川内中学校が取り組むボランティア活動を、全ての学校に広げてはどうでしょうか？」
力強く発表した西原佳乃さん。川内中学校では、生徒の自主的な取組みで、エコキャップ回収運動やアルミ缶回収運動を行っています。エコキャップ回収運動とは、ペットボトルのキャップ部分を資源として売却し、売



川内中3年 西原 佳乃さん

却益でワクチンを購入する取組み。ミャンマーなど支援が必要な国で感染症により命を落とす子どもたちに、予防接種のワクチンを届けています。
西原さんが副会長を務める生徒会では、月に3日間エコキャップ回収強化日（通称、EKK）を設けて、全校生徒に呼びかけなど回収率強化を目指してい

ます。「放送などで呼びかけたら前月の何倍も集まった。継続して呼びかけたい」と話す西原さん。しかし、エコキャップ回収運動もアルミ缶回収運動も自分たちだけではできないと言います。「生徒全員、資源回収に協力してくれる一般の方、自衛隊の方など多くの方が協力してくれてありがたい」と感謝の気持ちをお忘れません。そんな西原さんには、活動を続ける一つの思いがあります。

「誰かの役に立ちたい」

「中学に入学してボランティア活動に取組む先輩の姿を見て、『人の役に立っていいな』と思いました」。西原さんは、将来もそんな仕事に就きたいそうで、「いろんな人が、誰かのために」という気持ちをもてば、もっと社会は良くなると思います」と、屈託のない笑顔を見せてくれました。



①回収ボックスを手作りして全クラスに設置。②生徒有志が毎日リアカーで回収に行きます。③資源になるよう手洗いも自分たちで。④アルミ缶回収の歴史は生徒会室に貼られています。

農業



毎年大勢で賑わう「どてかぼちゃカーニバル」

東温市青年農業者協議会
会長 八塚 圭一郎さん =野田=

協議会の皆さんがカレーを提供するに至った、ある思いを八塚さんは話してくれました。「小中学生の皆さんなら、スーパーなどで並んでいるキレイな形で、傷の付いていない野菜を普段は目に見ていると思います。もしかしたら変な形だったり、傷が付いていたりすると、「美味しくないんじゃないか?」って気持ちになった人もいるかもしれません。でも、ぐにゃっと曲がっている野菜や、傷が付いたり、虫が少し食べていたりする野菜も実は美味しく、見た目もキレイな野菜と品質が変わりがないよね、と協議会の仲間たちとよく話すんです。どんなことでも見た目で判断しちゃダメだよ、と。それは野菜でも人間でも同じと考えるようになりましたね」

「うちの子はいちごが嫌いだったけど、八塚さんとこのいちごを食べたら、好きになりました」。そんな声を受けて、価値観が変わったという八塚さん。「まず食べてみる。やってみる。それって社会でも同じことですよ」。これからも味に向き合う青年農業者協議会の挑戦は続きます。

「私たちが普段購入している野菜には、傷が付かないように、形を整うように栽培する農業者の皆さんによる絶え間ない努力があります。今の時代、私たち消費者は、野菜や商品を知り、創り手との関係を築いていくことで、商品を選択する力を身につける必要があるのかもしれない。」

大きさや傷で決めつけない。人も野菜も同じです。

若手農業者で構成される東温市青年農業者協議会。父親が農家だったことで自然と農家の道に進んだという会長の八塚さんに、農業のこと、野菜のことについて訊ねました。



東温市内は産直市が多数点在。少しの傷や変形があっても味は良い。



東 温市は、気候が安定して風水害が少ない地域。美味しい野菜が採れることで有名ですが、なんでも採れる。がために、コレと違った特産物がなく、PR力に弱いという欠点がある。PR力も採れます。しかし今、「なんでも採れること」を逆手に取ってPRの材料にしよう。と、東温市青年農業者協議会の皆さんが活動しているのをご存知でしょうか? 6月号広報で紹介した廣川さんらが手掛ける「パクチーの販路開拓」など、協議会では東温野菜のPRに力を注いでいます。9月9日、悪天候だったもの約千人が来場した「どてかぼちゃカーニバル」をはじめ、11月には「産業まつり」、12月に「農業祭」、2月には「農林水産まつり」と、年間を通じて市内外問わずイベント出店し、東温野菜をPRしています。

また、協議会では発信のツールも工夫しています。「ただ野菜を売るだけなら、どこでも変わりません。東温市は何でも野菜がある↓どんな野菜でも入れられて美味しく仕上がる↓カレーをツールとして東温野菜をPRするように計画しました」と八塚さんは話します。

手話

月2回、中央公民館に集まって活動する、手話サークルラブ。お世話役の、大北さんと正岡さんに手話について伺いました。「耳の聞こえない人に、内容を伝えることの難しさを痛感しています。ただ、集まってくれただけで伝えるだけでも難しいのに、専門的な用語を噛み砕いて簡単な言葉にすることが、どれだけ大変なことか。でも、コミュニケーションがとれ

た時は本当に嬉しく、手話を知っていて良かったと感じますね」と話すお二人。サークルの皆さんは、「難しいと思われるがちな手話ですが、普段の生活イメージからできあがるもので、知れば簡単に面白いです。災害時の避難所生活でも役に立ちますし、興味をもってくれれば嬉しいです」と、手話がもっと広まってくれることを願っています。

楽しい！手話で伝える



手話サークル ラブラブの皆さん

ー 使ってみよう！手話入門編 ー

痛い



全部の指を曲げ、痛いところを指し、左右にゆらします。

お手伝いしましょうか？



親指を立てた左手を、右手のひらで2回押し、前に差し出します。

ボランティア



2本の指を下に向け、前方へトコトコ。歩み寄って歩くイメージ。

ありがとう



手のひらを下に向け、反対の手を手首の上に置き、手を上に上げます。

大丈夫？



右手を左胸から右胸へ当て、手を差し出します。

あいさつ



向かい合わせた人差し指を折り曲げます。

一口メモ
ヘルプマーク

援助や配慮を必要としていることを知らせます。

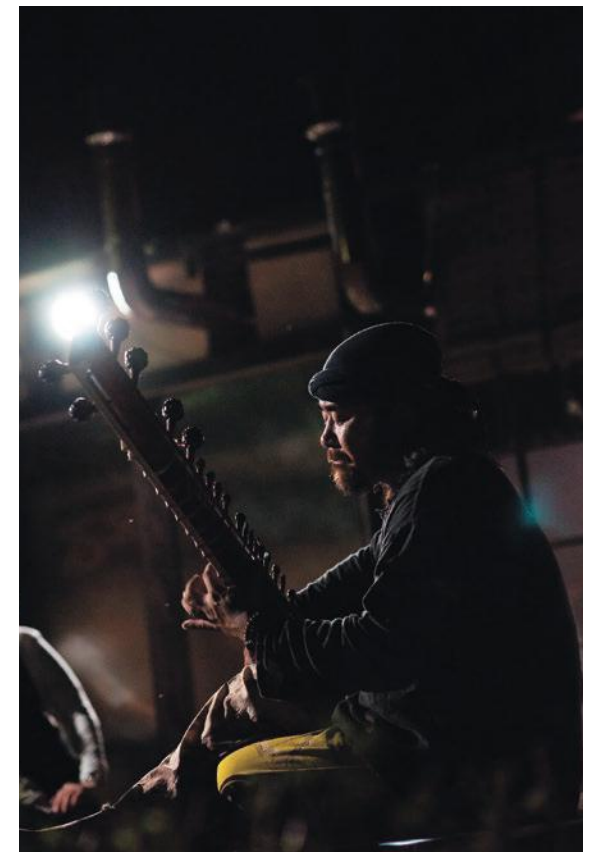


芸術

向井さんインタビュー
音というのは空気の振動で、主に耳や体で感じるものです。音楽も、普段生活の中で発生する音も、全て「音」。大事なのは、自分の「アンテナ」の感度を磨いて、その音を感じ取ることができるかどうか。皆さん、興味のあるもの、ないもの、好きなこと、嫌いなこと、色々あると思いますが、是非、全てのことに対して肯定してみてください。肯定的であれば、「なぜこれが存在してるんだろう？」と

いう疑問が湧いてきて、ルーツ、原点を知ることが出来ます。地域の伝統文化や芸術の継承にも通じることかもしれませんね。
私たちは今、有名無名に関わらず、実力のある人感性を磨こうとする人を東温市に呼び、皆さんと触れ合える場を設けようとしています。音楽に興味のある・ないに関わらず、様々な芸術に触れ合えますので、感性を磨きに是非、東温アートヴィレッジセンターへお越しください。

アンテナを磨く＝肯定する



地域おこし協力隊 向井 健さん

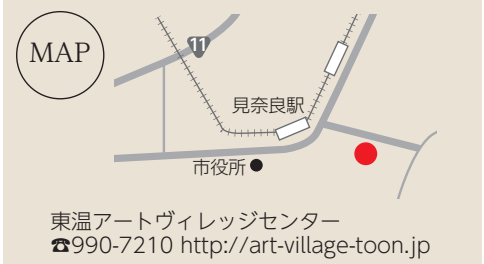
ー information ー

「アートヴィレッジTOON 戯曲賞2018」戯曲作品募集

次世代を担う劇作家を発掘！上演を前提とした戯曲賞です。

受付開始：10月1日(月) 応募締切：11月15日(木)
大賞：正賞／東温市産ブランド米 副賞／賞金150万円(税込)
※賞金には上演権料、放送権料を含む。

優秀賞：正賞／東温市産ブランド米 副賞／賞金5万円(税込)
☎ NPO法人シアターネットワークえひめ ☎931-3996



東温市民劇団 オリジナル演劇「I SEE」

芸術の秋、役者の息づかいまで聞こえる小劇場で、贅沢な観劇をしてみませんか？

日時：11月23日(金・祝) ①13時～14時 ②18時～19時
11月24日(土) ①11時～12時 ②16時～17時

場所：東温アートヴィレッジセンター シアターNEST
料金：(前売り券)大人1,000円 高校生以下500円
(当日券)大人1,500円 高校生以下1,000円
☎ 東温市民劇団 愛洲(あいす) ☎090-3780-0937

『△chestra(トリケストラ)vol.2』上演

落語、マジック、コントなど様々なジャンルが一度に楽しめる劇団コバヤシライタ主催のショーケース

日時：11月17日(土)
①13時～ ②16時～ ③19時～
場所：東温アートヴィレッジセンター シアターNEST
料金：(前売り券)2,000円 (当日券)2,500円
☎ 東温アートヴィレッジセンター ☎990-7210

インド音楽の世界 バーンスリー奏者 寺原太郎氏によるライブ&ワークショップ

国内外より高い評価を受けるバーンスリー(北インドの横笛)奏者・寺原太郎氏によるライブ&ワークショップ

□ライブ
日時：11月2日(金) 19時～
場所：東温アートヴィレッジセンター アトリエNEST
料金：2,000円
☎ 東温アートヴィレッジセンター ☎990-7210

□ワークショップ
日時：11月3日(土・祝) 19時～
場所：東温アートヴィレッジセンター シアターNEST
料金：(予約)2,500円 (当日)3,000円

大好きな東温市が、もっと好きになりました。



今回の子どもミーティングは、子どもたちにとっても良い機会となりました。東谷小の生徒2人は「観光」のテーマで東温市を調べましたが、「自分たちの東谷には、観光地がいくつもある。いいところなんだ」と、地域の良さを再認識する機会にも繋がりました。課題を自分で見つけて考える力を養うことができたと感じます。実際に公園や施設が整備されるには、地域の皆さんの話し合いをはじめ、多くの関係者の皆さんの大変な苦勞があると思いますが、今後、社会科の授業を通して、「地域の成り立ち」についても学んでまいりたいと思います。

—東谷小 築山先生コメントより—

美

「小中学生の皆さんが、環境保全について意識をもつことはとても素晴らしいです。田舎の子という言い方は失礼ですが、東温市の子どもは情操教育が行き届いているなど感じます」。環境保全について、大人たちがお手本を示すのが大事と考える河野さんと上野さん。先日、60代くらいの人が自転車から川内支所前の川にゴミ袋を投げ捨てているのを見て、残念な気持ちになったと言います。「子は親の背中を見て育ちます。地域の大人たちがそういう姿を見せてはいけないですね」そんな上野さんが活動する、いずみの会では、東温市美しいまちづくりサポーター

東温市美しいまちづくりサポーター制度とは？
公共の場所や環境の美化・保全を目的に活動するグループの皆さんが、「美しいまちづくりサポーター」として登録する制度です。登録いただくと、市から活動に必要なゴミ袋や用具、草花の苗などをお渡しします。一緒にふるさと東温市を守りましょう！

☎ 環境保全課 ☎964-4415

ふるさとを守る

制度を活用して、公共の場所である集会所などの清掃活動を行っています。—ふるさととは、自分たちで守りましょう—そう話すお二人の話は地域愛で溢れていました。



南方東地区 いずみの会の
上野さん(左)と河野さん(右)

交

「車社会のなかで路線バスの本数は減る一方。今の路線の現状維持も大変です」。そう話すのは、みんなの公共交通を考える会代表の横手さん。「二人ひとりが余裕のある時に、少しでも公共交通に意識を向ければ、高齢者の足の確保に繋がります。社会全体で支えあえます」と横手さんは話します。縮減する路線を何とか維持したいと考えた末、横手さんらは、東温市ならではの観光地・景勝地を活用した「路線バスで東温ぶらり発見」というバスツアーを企画。今では市外からの参加者も多く盛況です。イベントはバス代や保険代だけ実費で、会員はボランティアでもやりがいを感じるそう。「小さな子はバスや電

生活の足をなくさない

車が大好き。親子連れの人も東温市の自然景観を楽しんでもらいたい」と呼びかけます。公共交通と観光資源を上手く組み合わせたいツアーには是非、ご参加ください。ツアー情報は23ページに掲載中。

土日はこんな取組みも！
パーク&ライド
休日に、電車やバスを利用して郊外でレジャーを楽しむ人に便利です。
〈使い方〉
1) 市役所駐車場の指定場所に車を止め、利用カードを車内のダッシュボードに置くだけ！
2) 見奈良駅、市役所バス停から公共交通を利用しましょう。
3) 車に戻ったら、利用カードを返却用ボックスに入れて終了です。



みんなの公共交通を考える会
代表 横手 裕子さん